

## 柔軟剤の「スメハラ」とは？

「セクハラ」とはよく聞きますが、「スメハラ」とは何でしょう。それは最近問題になっている「**スメルハラスメント**」の略です。つまりにおいによる嫌がらせという事です。足の臭みや汗のにおいだけではなく、今ブームの洗濯に使う柔軟剤による「スメハラ」という訳です。

昨今の柔軟剤は、洗濯物を軟らかくし、着心地や肌触りを良くするという本来の機能よりも、むしろ香りを重視して選ばれる傾向があるようです。

香り系柔軟剤ブームは、2009年にヒットした米国P&G社製「**ダウニー**」が火付け役になり、最近では国内メーカーの新商品の投入が相次いでいます。花王の「フレア フレグランス」、ライオンの「ソフラン、アロマリッチ、フローラルアロマ」、P&G ジャパンの「レノアハピネス」が売れ筋とか。



香りが良くて、ある男性がモテモテになったという一面も聞いてはいますが、一方、柔軟剤と汗のにおいが混ざるのか、もはやトイレの芳香剤のにおいに近いと訴えている人もいますとか。

また、柔軟剤の香りそのもので体調不良を訴える人が増えてきているようです。国民生活センターによると、「**鼻やのどが痛くなる**」「**気分が悪くなる**」という相談が急増

しています。

以前から「**シックハウス症候群**」や「**化学物質過敏症**」の患者さんがいますが、電車やバスの中、隣の家などから来る柔軟剤の香りでも症状が起こっているようです。**主な症状は、頭痛、吐き気、倦怠感などです。**高残香タイプの柔軟剤には、アントラニル酸メチル、ジヒドロキシ・ジメチル安息香酸メチルなど多数の化学物質を組み合わせた人工香料が含まれています。

環境省はこの夏初めて「女性のクールビズ」を提案し、香り付き柔軟剤や制汗剤を薦めたところ、「香料など化学物質で体調を崩す人を増やす」と市民団体からクレームがあったために削除作業を進めているようです。

以前から柔軟剤はアトピー性皮膚炎を悪化させると指導してきましたが、ここにきて香り剤がアレルギー性鼻炎や喘息の誘発因子となる可能性も出てきました。そしてますます「化学物質過敏症」の人が増えてこないか懸念されます。

「香りをもっと楽しみたい時は、使用量を増やして」との注意書きもあるようですので、これからはプンプン香る(臭う)人たちが増えてきそうですね。本人はいい香りと感じているので、止めさせるわけにはいかないのがつらい所ですね。

(たまなは)